

平成 23(2011)年度研究一覧

共同研究

「絆としてのコミュニケーション」

Kizuna: Communication which binds us together」

「遠藤周作の留学の経験と西洋文化の関係」	リチャード A. ローガン (代表・文学部教授)
「ソーシャルメディアとコミュニケーション : 2012 年大統領選挙、連邦会議選挙に向けて」	前嶋 和弘 (人間科学部准教授)
「産後こころの不調に悩む母親を対象とした自助グループの試み」	会沢 信彦 (教育学部教授) 藤枝 真紀子 (客員研究員) 藤枝 静暁 (客員研究員)
「グローバルに展開するエスニック・ネットワークの比較研究 ーコリアンとウチナンチュに注目してー」	山脇 千賀子 (国際学部准教授) 高 鮮 徽 (客員研究員)
「朝鮮の留学生の文学と日本文学との交渉」	武内 佳代 (文学部准教授) 明 恵英 (客員研究員)
「井上ひさし著・戯曲『天保十二年のシェイクスピア』の研究 ー横糸として織り込められた 三七編のシェイクスピア劇を読み解くー」	鈴木 健司 (文学部教授) 磯山 甚一 (文学部教授) 藤井 仁奈 (準研究員)

<p>「日本語教師のライフヒストリー研究」</p> <p>：異文化理解とコミュニケーション能力の観点から</p>	<p>三枝 優子（文学部講師）</p> <p>高宮 優実（客員研究員）</p>
--	---

個人研究

<p>「タデウシュ・カントル「死の教室」について」</p>	<p>中川 素子（教育学部教授）</p>
<p>「障害のある子供の親に対する共同注意成立のための支援 －子どもの言語発達及び母親の関わり方の変化を通して－」</p>	<p>小野里 美帆（教育学部准教授）</p>
<p>「現代社会と古代史」</p>	<p>ジェームズ グラハム (文学部准教授)</p>